

クリンチャー™ 1キロ粒剤

水稲用除草剤

全国どこでも、効果的なヒエ防除に。

- 大きなノビエもすばやく枯らす。
- ノビエは枯らすが、イネには高い安全性。
- 降雨、減水の影響を受けにくい安定した効果。



日本全国、ノビエ5葉まで
しっかり枯らす。

クインチャー™ 1キロ粒剤

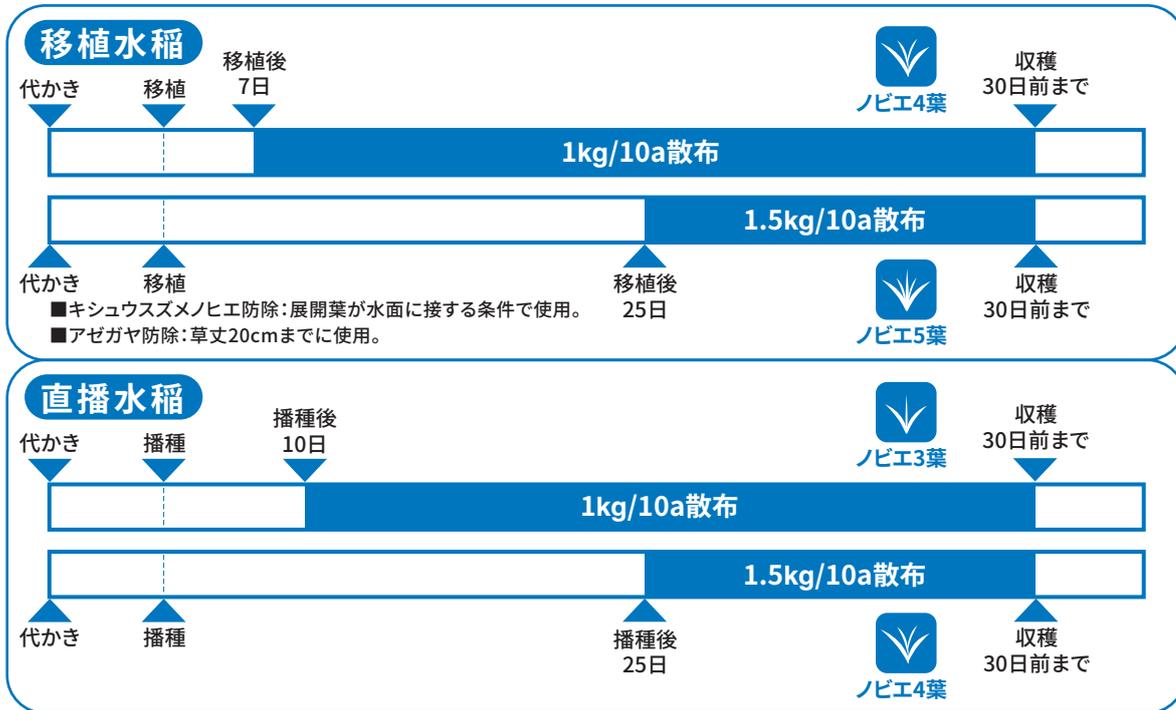
水稲用除草剤

- 登録番号：第19190号
- 有効成分：シハロホップブチル…1.8%
- 性 状：類白色細粒
- 有効期限：5年
- 包 装：1kg×12袋、3kg×8袋

使用時期

幅広い期間で使用でき、後発生したノビエ防除に適しています。

水管理について



●水面施用時

ノビエ 葉齢	湛水深
4葉期 まで	水深 3cm ～ 5cm
5葉期	水深 5cm

●施用後の水管理

散布後3～4日は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

■適用雑草と使用方法 本剤は対象雑草の生育ステージによって使用量が異なるので注意してください。

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	総使用回数※	使用方法
移植水稲	ノビエ キシュウスズメノヒエ アゼガヤ	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	1kg	本剤 2回以内 シハロホップブチル 3回以内	湛水散布または 無人ヘリコプターによる散布
		移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前まで	1.5kg		
直播水稲	ノビエ	播種後10日～ノビエ3葉期 但し、収穫30日前まで	1kg		
		播種後25日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	1.5kg		

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びシハロホップブチルを含む農業の総使用回数の制限を示す。

●効果・薬害等の注意

- 本剤はノビエの4葉期(1.5kg/10a散布では5葉期)まで有効なので時期を失ないように散布してください。
- 広葉雑草には効果がありませんので、広葉雑草が混在する場合はそれらに有効な剤と組み合わせて使用してください。
- 散布に当っては水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm程度)で均一に散布してください。特に、ノビエ5葉期散布の場合は水深を5cmに調整してください。散布後3～4日は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 漏水田(減水深2cm/日以上)では薬害が発生するおそれがあるので、使用しないでください。
- キシュウスズメノヒエ防除は、展開葉が水面に接する条件で使用してください。
- アゼガヤには、草丈20cmまで有効なので時期を失ないように散布してください。
- 薬類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤と組み合わせて使用してください。
- 本剤はその殺草特性から、とうもろこし、食用びえ、ソルガムなどのイネ科作物の生育を阻害するおそれがあるので、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないでください。
- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 使用量に合わせて秤量し、使い切ってください。散布器具の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空袋などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

●安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意してください。
- 食品と区別して、直射日光を避け、なるべく低温場所に保管してください。

無人ヘリコプター散布の際の注意事項



- 1) 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
- 2) 散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
- 3) 粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため、散布装置のインペラ(スピナ)の回転数を低速に調整してください。
- 4) 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
- 5) 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処置してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

製造

コルテバ・ジャパン株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
山王パークタワー
<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2022年11月現在の知見に基づき、作成されています。